

新米保健所長の1年間

行政医師となったのが令和元年のこと。3年間はじっくり修業をして、思っていたところ、3年目に保健所長を拝命いたしました。それも、同じ福島県とはいえ、生活はおろか、訪れること自体が子どもの頃以来的の相双地区で…。とにかく落ち着かない1年間でしたが、誌面で振り返ってみたいと思います。



福島県相双保健所長
堀切 将

平成16年福島県立医科大学卒業。初期研修修了後、形成外科医として13年間勤務。令和元年に福島県に入庁。3年より現職。医学博士、形成外科領域指導医。

4月、どこもかくごも赴任して

着任のあいさつをするかしないかのところで、新型コロナウイルス感染症患者が急増し、これから先どうなることやら、と悩む出だしとなりました。さらには、武智浩之先生（群馬県利根沼田保健福祉事務所医監・保健所長）が班長を務める、全国保健所長会協力事業の中の公衆衛生医師確保育成事業班にも参加させていただくことになり、早速17日の連絡会議に出席しました。

28日に相双地方振興局主催の新生ふくしま復興推進相双地方本部

の協力の依頼を行いました。これにより、保健所での検体採取件数が減少し、職員の負担も軽くなりました。11日に相双農林事務所の衛生委員会に、16日に医師会理事會に出席し、自宅療養の説明を行いました。24日に第2回県北・相馬地域メデイカルコントロール協議会・事後検証会に出席しました。27日に原子力災害対策要員研修を受講しました。28日に公衆衛生医師合同相談会（PHCC）の打ち合わせに、30日に第3回南相馬市老人ホーム入所判定会に出席しました。31日に第72回福島県公衆衛生学会に出席し、そこで当初職員が学会発表を行いました。

9月、公衆衛生医師の確保事業に本格的に参加して

4日にPHCCが開催され、手伝いとして参加しましたが、相談会にやってきた（Zoomですが）学生さんや若手先生たちの熱意には圧倒されてばかりでした。

10月、今後の感染拡大の波に備えて

4日に相双地方振興局の衛生委

会議に招かれて新型コロナウイルスに関する講義を行いました。また、福島県介護保険審査会委員、浪江町健康づくり推進協議会委員、双葉町健康づくり推進協議会委員を委嘱されました。毎月の感染症審査協議会も始まりました。

5月、感染が急拡大して

患者数の急増があり、休日にも検体採取を行うようになりました。5月の上旬から中旬にかけては、ほぼ毎日のように検体採取をしていました。1日に公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会に、13日に第1回南相馬市老人ホーム入

員会に出席しました。13日に原子力災害現地対策本部図上演習を、14日にDHEAT基礎研修を受講しました。19日に第20回心うつくしまふくしまフォーラムに出席しました。21日に相馬郡医師会主催の第6回相馬郡新型コロナウイルス感染症対策協議会に出席し、現況を報告しました。27日に第1回相双地域糖尿病性腎症重症化予防プログラム検討会に出席しました。南相馬市健康づくり推進協議会委員ならびに、福島県生活習慣病検診等管理のため、同協議会委員を委嘱されました。

11月、検体採取もめつきり減って

8日に第3回県北・相馬地域メデイカルコントロール協議会・事後検証会に、12日に令和3年度エコチル調査福島ユニットセンター県北・相双地域運営協議会に出席しました。30日から公立双葉看護学院の2年生7名を対象として「保健医療福祉の仕組み」の講義を計5回、年明けまで行いました。結果、全員が准看護師試験に合格しました。葛尾村健康づくり推進

所判定会に、22日に公衆衛生医師に興味のある学生さんとのZoom面談に、28日に福島県精神保健福祉協会相双支部役員会議、31日に第1回県北・相馬地域メデイカルコントロール協議会・事後検証会に出席しました。

6月、少し、落ち着いた?

急な患者発生も落ち着いて一息となる間もなく、職員人事評価など、本来の業務ではあるのですが、コロナ対応以外の業務が入ってきました。24日に令和3年度東北ブロック保健所連携推進会議に出席しました。エコチル調査福島ユニットセンター地域運営協議会委員を委嘱されました。

7月、危機到来?

管内の某地方公共団体で新型コロナウイルス感染者が急増してしまい、これを重く見た議会より、保健所長

12月、所外行事が多かった

2日に第4回南相馬市老人ホーム入所判定会に出席しました。7日に鳥インフルエンザ等対策研修を受講しました。8日に第2回相双地域糖尿病性腎症重症化予防プログラム検討会に出席しました。15日に福島地方環境事務所作業適正化・安全対策等協議会第2回講話会に出席し、講演を行いました。17日に相馬郡医師会に出席しました。21〜23日の第80回日本公衆衛生学会総会では公衆衛生医師確保育成事業班会議への出席、公衆衛生医師の集いの補助、自身の発表を行いました。

1月、ついに感染の再拡大が

13日に母子福祉資金貸付審査会に、17日に相馬郡医師会に、20日に第5回南相馬市老人ホーム入所判定会に出席しました。27日に令和3年度全国保健所長会研修会の援助をオンラインにて行いました。これが、全国保健所長会協力事業における今年度の私の主たる仕事でしたので、荷が下りた気分でした。

を召喚して意見を求めてはどうか、という話まで出てきました。戦々恐々となりましたが、その後幸いにして感染者数も減少し、話は立ち消えとなりました。また、地域の医師会との交流も次第に活発となり、19日には医師会常任理事會に出席させていただきました。そして、医師会幹部への情報提供が日課となり、医師会の先生方も保健所に手厚く協力してくださるに至っています。これはもう、大変ありがたいことです。20日に第2回南相馬市老人ホーム入所判定会に、23日に第70回東北公衆衛生学会に出席しました。公立学校結核対策検討委員会委員を委嘱されました。

8月、地域医療機関との連携強化

3日、4日と管内の医療機関を訪問し、濃厚接触者への行政検査

た。

2月、止まらぬ感染拡大

相双管内でも感染者が急増したため、さまざまな会議、委員会が中止になったり書面開催となったりました。この月は新型コロナウイルス関連のことばかりだったような記憶がありません。

3月、新年度に向けて、と思ったら

1日、相双地方振興局衛生委員会に出席しました。10日、11日とDHEAT高度研修を受講しました。16日夜中に発生した福島県沖地震により、管内で被害が続出したため、その対応協議も始まりました。31日、母子福祉資金貸付審査会に出席しました。

以上、起こったこと、出席した会議を書き連ねただけですが、保健所長ってこんなことをしていたのだな、と自身の振り返りになりました。この機会を与えてくださった日本公衆衛生協会様に感謝申し上げます。筆をおくことにいたします。